



## アナザーストーリーズ 運命の分岐点

### 「テレビドラマの金字塔『おしん』大ヒットの舞台裏」

8月13日（火）午後9:00～9:59

誰もが記憶している事件や出来事を、当事者の知られざる証言で振り返る「アナザーストーリーズ 運命の分岐点」。今だから話せる「新証言」や、時を経て見つかった「新事実」、そして「貴重な映像」を駆使し、複数の視点から真実に迫る“マルチアングルドキュメンタリー”。

運命の分岐点は1983年4月4日。この日、テレビドラマの金字塔ともいべきドラマがスタートした。テレビドラマ史上最高視聴率62.9%を記録した連続テレビ小説「おしん」。

山形の貧しい農家に生まれた少女・おしんが、明治・大正・昭和の激動の時代を背景に、さまざまな辛酸をなめながら女の生き方、家族のありようを模索しつつ必死に生きる姿を描き、日本中に爆発的な大ブームを巻き起こした。

ドラマの中で、おしんが米一俵で奉公先に売られると、「これでおしんを取り返してくれ」と、NHKに米やお金が届く。視聴者は「おしん」をドラマではなく、現実のものとして捉え、苦難にめげず力強く生きるおしんの姿に日本中が涙した。

その勢いは国内だけに留まらず、世界へと広がっていく。

日本人が「おしん」に投影し、見つめようとしたものは何だったのか。橋田壽賀子が、泉ピン子が、小林綾子が、今明かす。制作に携わった人たちと、それに涙した視聴者たち、そしておしんに生きる勇気をもらった外国の女性たち。それぞれのアナザーストーリー。

ナビゲーターは松嶋菜々子、ナレーターは濱田岳。

